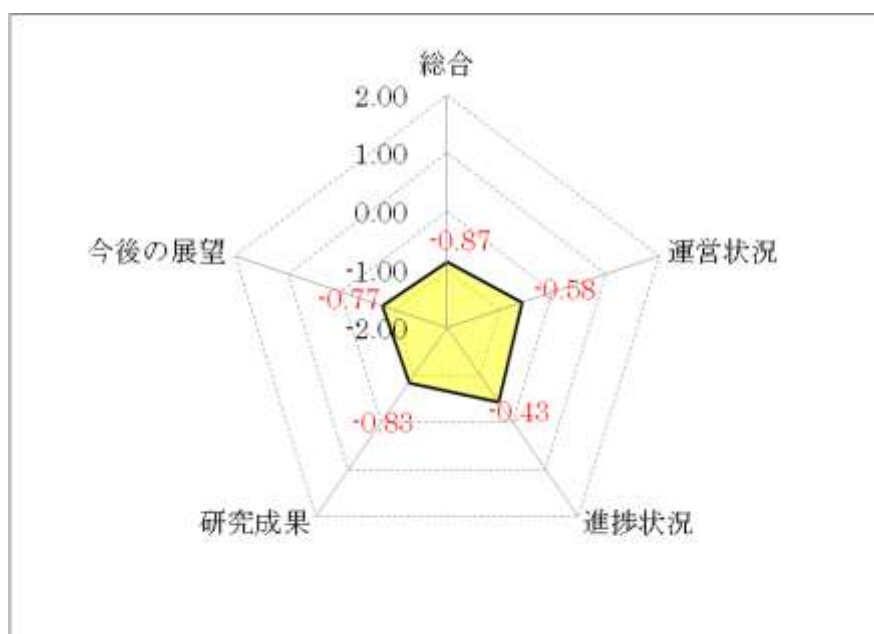


島根大学プロジェクト研究推進機構平成21年度研究プロジェクト評価

研究プロジェクト：萌芽研究部門

石見銀山を中心とする地質資源の総合資源化および山陰・島根ジオパークに関する研究

	総合	運営状況	進捗状況	研究成果	今後の展望	得点の平均
得点	-0.87	-0.58	-0.43	-0.83	-0.77	-0.70
評価	D+	D+	C-	D+	D+	D+



(評価コメント)

地球資源環境学科の主要メンバーが山陰・島根ジオパーク化へ向けて4年間取り組んできた成果としては、問題といえる評価です。北島根地域の第三紀地質は、日本列島の形成過程からみても学術的に極めて重要な場所であり、その学術的価値を一般化し普及するジオパーク構想は期待されたが、第1期の評価に続き、第2期の評価でも、実施者と評価者の評価との間には大きな隔たりが認められる。隠岐のジオパーク申請が実現できたことは成果であるが、全体構想の中での位置づけが十分に理解されていない。個々の課題と成果がプロジェクトとして連携しておらず、プロジェクト研究の基本的プロセスを十分に理解する必要がある。鳥取大学が主導して進めている同じ地質背景をもった山陰ジオパーク構想との関係は曖昧なままであり、なぜ石見銀山を中心とする北島根地域がジオパークとして重要なのか、基本に戻って検討していただきたい。